

既存基本計画の評価・分析及びごみ処理の課題について

■既存計画（計画期間：平成25年度～令和9年度）の目標値と達成状況

			平成25年度	平成29年度	令和4年度	令和9年度
			計画初年度			目標年度
蕨市	ごみ排出量 (トン)	目標値	—	20,000	19,000	18,000
		実績値	22,600	21,215	20,676	—
		達成状況	—	× +1,215	× +1,676	—
	1人1日あたりの排出量 (g/人・日)	目標値	—	741	700	660
		実績値	858	783	752	—
		達成状況	—	× +42	× +52	—
	焼却処理量 (トン)	目標値	—	16,000	15,000	14,000
		実績値	18,141	17,513	16,934	—
		達成状況	—	× +1,513	× +1,934	—
戸田市	ごみ排出量 (トン)	目標値	—	38,000	36,000	35,000
		実績値	44,116	44,676	44,122	—
		達成状況	—	× +6,676	× +8,122	—
	1人1日あたりの排出量 (g/人・日)	目標値	—	779	706	661
		実績値	931	883	853	—
		達成状況	—	× +104	× +147	—
	焼却処理量 (トン)	目標値	—	31,000	29,000	28,000
		実績値	36,388	37,787	37,114	—
		達成状況	—	× +6,787	× +8,114	—
2市合計	ごみ排出量 (トン)	目標値	—	58,000	55,000	53,000
		実績値	66,716	65,891	64,798	—
		達成状況	—	× +7,891	× +9,798	—
	1人1日あたりの排出量 (g/人・日)	目標値	—	766	704	661
		実績値	905	848	818	—
		達成状況	—	× +82	× +114	—
	焼却処理量 (トン)	目標値	—	47,000	44,000	42,000
		実績値	54,529	55,299	54,048	—
		達成状況	—	× +8,299	× +10,048	—
	資源化率 (%)	目標値	できるだけ早い時期に25%を目指す			
		実績値	23.7%	19.5%	20.7%	—
		達成状況	× -1.3pt	× -5.5pt	× -4.3pt	—

■既存計画（計画期間：平成25年度～令和9年度）の課題と関連施策

項目	課題	関連施策	実施内容（H25～R5）と今後の課題
収集運搬	一部のごみ集積所において、分別、排出時間帯などのごみ出しのルールが守られていない	【ごみ出しルールの徹底】 一部の集積所において、ごみ出しルールが守られていない状況があるので、市民への周知、啓発に努めていきます。	蕨市：広報紙・市情報テレビ番組による啓発、ホームページによる啓発、市民団体「蕨市公衆衛生推進協議会」を通じて広報啓発（H26～） 戸田市：広報紙・市情報テレビ番組による啓発、ホームページによる啓発 組合：ホームページによる啓発 今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続 （組合）現状を継続
	外国人世帯や単身者世帯に対する家庭ごみの分別方法の周知の徹底	【環境教育、普及啓発の充実】 ホームページや広報等を通じて住民、事業者に対してごみの減量化・再生利用、更にはごみの適切な分別に関する啓発や情報提供を行っています。ごみの減量化に関する社会意識を育むため、環境教育を積極的に行っていきます。	蕨市：広報紙・市情報テレビ番組等による啓発、530運動の実施、出前講座の実施、環境フォーラムの開催、生ごみと花苗の交換事業、エコキャップ運動、ホームページによる情報発信 戸田市：広報紙・情報テレビ番組等による啓発、530運動の実施、出前講座の実施、環境フェアの開催、生ごみと花苗の交換事業、ホームページによる情報発信、施設見学の受入（H26～R1）
	可燃ごみ中の焼却不適合物が多い		組合：生ごみと花苗の交換事業、花壇ボランティア事業、職場体験学習の受入、施設見学の受入、ホームページによる情報発信、ホテル観賞会実施（H27～R3）、段ボールコンポスト講座実施（R5）
	廃プラスチックの分別が不徹底		今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続 （組合）子どもへの環境啓発から家庭への波及効果を狙った効果的な施設見学の実施、オンラインツールを活用したリモート施設見学の実施検討
	不法投棄（特にリサイクル家電）が増加している		【不適正処理、不法投棄の防止】 ごみの不適正処理や不法投棄を防止するため、監視を強化します。
粗大ごみの再資源化・減量化	【粗大ごみの再資源化】 粗大ごみとして捨てられた家具の中から比較的状態の良いものを選び、補修し再生しています。更に、資源化が可能な廃棄物の再資源化に努めます。	蕨市： 戸田市： 組合：硬質プラスチックの資源化（H25～H30）、小型家電ピックアップ回収（H26～）、再生家具売払い、二次電池の回収（H28～）、スプリング入りマットレスの資源化（H28～）、羽毛布団の資源化（H30～）、硬質プラスチックの資源化検討（R1～）、廃棄自転車の資源化検討（H26～）、(株)ジモティーと再生家具譲渡についてリユースに関する協定締結（R4）	

	R2	R3	R4
再生家具売払い量	348 点	301 点	786 点
ジモティー譲渡量	—	—	20 点
二次電池回収量	700 kg	840 kg	1,000 kg
マットレス回収量	39,600 kg	49,770 kg	47,950 kg
羽毛布団回収量	1,520 kg	1,450 kg	1,640 kg

項目	課題	関連施策	実施内容（H25～R5）と今後の課題
			今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続 （組合）市民から市民へのリユースの活性化(三者検討)、再生家具売払い事業の手法検討、X・LINE 等の SNS を活用した PR 強化
	資源物持ち去り業者への対策	【資源物の持ち去り対策】 資源物の収集運搬は、指定の収集運搬業者以外はできません。このことは条例によって定められており、戸田市では罰則も設けられています。 蕨市は、資源物の持ち出しを禁止する警告文を配布しました。束ねた古紙類の上に挟み込み、資源物持ち去り件数の抑制を図っています。 戸田市は、市が回収する新聞など古紙の盗難被害を防ぐため、市独自の紙ひもストッカーを町会等へ配布しました。目印を入れたことにより古紙を盗まれても、戸田市から持ち去ったことが分かります。 警察署と連携した対策を強化します。	蕨市：蕨警察署と連携した資源物持ち去り対策、市民団体との連携 戸田市：戸田市環境推進協議会との連携、古紙問屋組合との追跡調査実施（H27～） 組合： 今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続
	ごみ出しが困難な高齢者等世帯への対策	【ごみ出し困難者への対応】 自力で、ごみ集積所にごみを出すことが困難な高齢者等を対象とした、戸別収集を検討していきます。	蕨市：蕨市ふれあい収集開始（令和5年10月） 戸田市：収集委託業者によるボランティア活動として「まごころ収集」実施 組合： 今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続
収集運搬	戸別収集、夜間収集	【収集方式】 収集方式は、現状を維持していきます。ただし、夜間収集・戸別収集などを状況を踏まえて、検討する必要があります。 【収集回数】 収集回数は、現状を維持していきます。ただし、夜間収集・戸別収集などを状況を踏まえて検討する必要があります。	蕨市：〔収集方式〕現状確認及び調査（H25）、戸別収集の検討（R4）、〔収集回数〕現状確認及び調査（H25） 戸田市：〔収集方式〕現状確認及び調査（H25）、戸別収集の検討（R4）、〔収集回数〕現状確認及び調査（H25） 組合： 今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続
	収集品目の見直し検討	【収集・運搬体制】 ごみ排出における分別状況に応じて、随時、収集・運搬体制の見直しを行うとともに、低公害収集車の導入を推奨します。	蕨市：収集運搬体制の確認、委託業者の収集車入替時等に低公害車導入推奨を調査・検討（H25）、委託業者との連携、安全な収集体制の構築 戸田市：収集運搬体制の確認、委託業者の収集車入替時等に低公害車導入推奨を調査・検討（H25）、委託業者との連携、安全な収集体制の構築、小型家電のボックス回収（H26～） 組合： 今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続
	生ごみ、草木搬入量が増加傾向	【リサイクルフラワーセンターの維持管理（生ごみ減量化対策）】 蕨戸田衛生センター組合では、家庭で一定の段階まで堆肥化を進めた生ごみを持ち	蕨市： 戸田市：

項目	課題	関連施策	実施内容（H25～R5）と今後の課題																				
		<p>込むと花苗と交換できる事業を行っています。生ごみ減量のシンボル事業として円滑な施設運営ができるように努めるとともに、生ごみの水分を減らす啓発や減量の大切さや必要性、減量方法などの発信拠点として事業展開を進めていきます。</p> <p>【剪定枝、草木等の資源化】 資源化を検討します。</p>	<p>組合：〔リサイクルフラワーセンターの維持管理〕堆肥化装置に脱臭設備の追加と運転マニュアルの作成（H25）、適正な堆肥化装置運転、施設見学の受入、生ごみの受入と堆肥化事業、ホームページによる情報発信、〔剪定枝、草木等の資源化〕調査・検討中</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生ごみ受入量</td> <td>59,742 kg</td> <td>60,916 kg</td> <td>58,276 kg</td> </tr> <tr> <td>堆肥化量</td> <td>15,702 kg</td> <td>15,391 kg</td> <td>15,654 kg</td> </tr> <tr> <td>登録世帯数</td> <td>827 世帯</td> <td>835 世帯</td> <td>820 世帯</td> </tr> <tr> <td>花苗交換数</td> <td>104,969 鉢</td> <td>103,001 鉢</td> <td>105,706 鉢</td> </tr> </tbody> </table> <p>今後の課題： （組合）運営委託事業者によるリサイクルフラワーセンターの施設活用を通じた環境啓発・地域貢献、事業系ごみに含まれる食品減量・資源化の検討(三者検討)</p>		R2	R3	R4	生ごみ受入量	59,742 kg	60,916 kg	58,276 kg	堆肥化量	15,702 kg	15,391 kg	15,654 kg	登録世帯数	827 世帯	835 世帯	820 世帯	花苗交換数	104,969 鉢	103,001 鉢	105,706 鉢
	R2	R3	R4																				
生ごみ受入量	59,742 kg	60,916 kg	58,276 kg																				
堆肥化量	15,702 kg	15,391 kg	15,654 kg																				
登録世帯数	827 世帯	835 世帯	820 世帯																				
花苗交換数	104,969 鉢	103,001 鉢	105,706 鉢																				
	事業系ごみの分別不徹底	<p>【事業者への分別の徹底】 事業系ごみの分別不徹底に対しては、分別指導をしていきます。また、必要に応じて手数料の見直しを検討していきます。</p>	<p>蕨市：ホームページを通じて適正処理を周知、通報に基づく適正処理の啓発、収集委託業者との連携による事業系ごみのごみステーションへの持出監視・市民団体との連携の検討、県職員併任職員による迅速な対応、事業系一般廃棄物の資源化の紹介、廃棄物再生業者との連携、事業系ごみ指定袋制度に関する検討</p> <p>戸田市：ホームページを通じて適正処理を周知、通報に基づく適正処理の啓発、収集委託業者との連携による事業系ごみのごみステーションへの持出監視・市民団体との連携の検討、県職員併任職員による迅速な対応、事業系一般廃棄物の資源化の紹介、廃棄物再生業者との連携、事業系ごみ指定袋制度に関する検討</p> <p>組合：ごみ搬入検査の実施、事業系ごみ受入基準に関する説明会の開催（H25）、搬入ごみ監視システムの活用、県内自治体の廃棄物処理手数料調査、廃棄物処分手数料改正（H26～）</p> <p>今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続 （組合）搬入検査の実施体制検討、監視体制の強化、検査結果の公表の検討、ペナルティ・優良排出事業者の表彰(市所管)、指定袋に排出事業者名記入の徹底(市所管)</p>																				
	両市では分別区分の違う品目がある	<p>【分別区分】 両市で極力統一できるよう随時検討していきます。</p>	<p>蕨市：連絡協議会にて調整（H25）、「燃えないごみ」に小型家電を明記（H26～）、粗大ごみ収集手数料を540円に改定（H26～）</p> <p>戸田市：連絡協議会にて調整（H25）、フライパン・やかん等を「不燃物等」から「カン・金属類」（資源物）に変更（H26～）、粗大ごみ収集手数料を400円に改定（H28～）</p> <p>組合：連絡協議会にて調整（H25）</p> <p>今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続 （組合）処理上統一するべき内容は統一済み</p>																				
中間処理	剪定枝、事業系ごみ資源化の検討	<p>【剪定枝、草木等の資源化】 資源化を検討します。</p>	<p>蕨市： 戸田市：</p>																				

項目	課題	関連施策	実施内容（H25～R5）と今後の課題																
		<p>【事業系ごみの資源化】 事業系可燃ごみに含まれる紙等についての資源化を検討します。また、3Rを推進する事業者への支援も検討します。</p>	<p>組合：〔剪定枝、草木等の資源化〕調査・検討中、〔事業系ごみの資源化〕紙ごみ排出事業者へ資源化業者を紹介、事業系ごみ受入基準に関する説明会の開催（H25）</p> <p>今後の課題： （組合）剪定枝、草木等の資源化検討、廃棄物再生事業者との連携(市所管)、継続的な事業系ごみ資源化の啓発(三者検討)</p>																
	小型家電の資源化の検討	<p>【小型家電破碎処理物の資源化】 携帯電話等の小型家電が燃えないごみに混入しています。このようなものも貴重な資源であり、資源化できないか検討していきます。</p>	<p>蕨市：二次電池の分別収集（R6～）</p> <p>戸田市：小型家電回収ボックスによる回収実施（H26～）、二次電池の分別収集（R6～）</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>回収ボックス回収量</td> <td>670 kg</td> <td>730 kg</td> <td>860 kg</td> </tr> </table> <p>組合：小型家電ピックアップ回収（H26～）</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>ピックアップ量</td> <td>119,890 kg</td> <td>124,010 kg</td> <td>126,790 kg</td> </tr> </table> <p>今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続 （組合）継続実施、処理単価上昇時の処理方法検討</p>		R2	R3	R4	回収ボックス回収量	670 kg	730 kg	860 kg		R2	R3	R4	ピックアップ量	119,890 kg	124,010 kg	126,790 kg
	R2	R3	R4																
回収ボックス回収量	670 kg	730 kg	860 kg																
	R2	R3	R4																
ピックアップ量	119,890 kg	124,010 kg	126,790 kg																
	各施設更新・再延命化の検討	<p>【蕨戸田衛生センター内中間処理施設の更新・長寿命化】 これまでごみ処理を担ってきた清掃工場には、循環型社会と低炭素社会の統合的な実現が求められています。ごみを受け入れ、安全に衛生的に処理しながら、焼却に当たっては高効率な発電を行い、電力の自給率を高めるとともに、余剰電力の地域への供給や二酸化炭素の削減を図る等、これまでとは違った役割が期待されています。 蕨市・戸田市の廃棄物を処理する蕨戸田衛生センター組合のごみ焼却施設では、平成19年度から22年度の4年間に約15億円かけて、焼却施設の基幹設備を補修して、施設を15年間長寿命化させる延命化工事に取り組みました。既存の施設を有効利用するため、施設機能を効率的に維持する方策です。 今後、周辺設備の維持補修が必要になりますが、ライフサイクルコストを低減しつつ、効率的な更新整備や保安全管理により機能保全を推進します。ストックマネジメントの考え方をもとに、施設の健全度を診断し、劣化予測、再延命化の検討等を行いつつ、施設の更新についても検討します。</p>	<p>蕨市：施設整備等検討委員会による調査・検討（H28～）、循環型社会形成推進地域計画の策定（H28）、施設長寿命化総合計画の策定（H29）、「基幹的設備改良事業」に係る生活環境調査、基本設計及び発注仕様書の策定（H30）</p> <p>戸田市：施設整備等検討委員会による調査・検討（H28～）循環型社会形成推進地域計画の策定（H28）、施設長寿命化総合計画の策定（H29）、「基幹的設備改良事業」に係る生活環境調査、基本設計及び発注仕様書の策定（H30）</p> <p>組合：施設整備検討委員会による調査・検討（H25～H27）、施設整備等検討委員会による調査・検討（H28～）、循環型社会形成推進地域計画の策定（H28）、施設長寿命化総合計画の策定（H29）、「基幹的設備改良事業」に係る生活環境調査、基本設計及び発注仕様書の策定（H30）、基幹的設備改良事業（ごみ、粗大、し尿）施工（R1～R4）、動物焼却炉廃炉（R1）</p> <p>今後の課題： （組合）基幹的設備改良事業対象外の設備の老朽化対策・保安全管理、今後の施設整備に係る施設整備構想、施設整備基本計画の策定</p>																
	非焼却処理への転換の検討	<p>【非焼却処理への転換の検討】 燃えるごみについては、焼却しないで炭素化する技術などがあります。また、リサイクルフラワーセンターにおいて、生ごみの一部を堆肥化していますが、この堆肥化も燃やさない技術であり、引き続き実施しながら、合わせて非焼却に向けた新たな技術や方法等について、積極的に検討していきます。 【焼却によらない発電手段の検討】 生ごみ、木くず等を活用したバイオマス発電、太陽光発電、風力発電等の焼却によ</p>	<p>蕨市： 戸田市：</p> <p>組合：〔非焼却処理への転換の検討〕硬質プラスチックの資源化（H25～H30）、ペットボトルキャップ売払い（H26～）、施設整備検討委員会による調査・検討（H25～H27）、施設整備等検討委員会による調査・検討（H28～）、硬質プラスチックの資源化検討（R1～）、〔焼却によらない発電手段の検討〕施設整備検討委員会による調査・検討（H25～H27）、施設整備等検討委員会による調査・検討（H28～）</p>																

項目	課題	関連施策	実施内容（H25～R5）と今後の課題												
		らない発電手段について、最新の技術動向を踏まえつつ、できる限り可能なものの導入を検討します。	今後の課題： （組合）将来の施設整備に向けた検討（費用面、能力面）												
中間処理	高効率ごみ発電の検討	<p>【高効率ごみ発電の検討】</p> <p>現在稼働している焼却施設は発電設備を有していますが、発電効率は9～11%にとどまっています。最近のごみ焼却施設においては、高効率なごみ焼却発電技術が導入されているため、今後のごみ焼却施設の更新・改修に当たっては、新たな技術機器等について検討していきます。</p> <p>【施設の節電対策（地球温暖化対策、余剰電力の有効活用）】</p> <p>施設内での無駄な電気の使用を控えると同時に、温暖化対策として、ごみ焼却の際に発生するエネルギー回収（余熱利用）の効率化を検討していきます。また、余剰電力については、有効活用を検討していきます。</p>	<p>蕨市：</p> <p>戸田市：</p> <p>組合：〔高効率ごみ発電の検討〕施設整備検討委員会による調査・検討（H25～H27）、施設整備等検討委員会による調査・検討（H28～）、〔施設の節電対策〕施設整備検討委員会による調査・検討（H25～H27）、施設整備等検討委員会による調査・検討（H28～）、余剰電力の売払い（H25～）、基幹的設備改良工事に併せ、施設を省エネ化（R2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発電効率</td> <td>11.3%</td> <td>10.9%</td> <td>12.9%</td> </tr> <tr> <td>電力売払ひ量</td> <td>2,907,576 kWh</td> <td>4,065,738 kWh</td> <td>5,678,604 kWh</td> </tr> </tbody> </table> <p>今後の課題： （組合）将来の施設整備に向けた高効率ごみ発電設備導入の費用対効果等の総合的検討（交付要件、設置費用、維持費用、発電量、売電収入など）</p>		R2	R3	R4	発電効率	11.3%	10.9%	12.9%	電力売払ひ量	2,907,576 kWh	4,065,738 kWh	5,678,604 kWh
		R2	R3	R4											
	発電効率	11.3%	10.9%	12.9%											
	電力売払ひ量	2,907,576 kWh	4,065,738 kWh	5,678,604 kWh											
蕨戸田衛生センター施設の整備、配置	<p>【蕨戸田衛生センター施設の整備、配置】</p> <p>将来の施設更新等を考慮し、施設配置を検討していきます。</p>	<p>蕨市：</p> <p>戸田市：</p> <p>組合：施設整備検討委員会による調査・検討（H25～H27）、施設整備等検討委員会による調査・検討（H28～）</p> <p>今後の課題： （組合）将来の施設整備を見据えた施設整備工程の検討（厚生館跡地利用、一次保管場所等）、北側敷地との一体化の検討・調整</p>													
粗大ごみの自己搬入受入体制の検討	<p>【粗大ごみの自己搬入受入体制の検討】</p> <p>粗大ごみの自己搬入増加（平成21年度には平成14年度に比べて約10倍増加）に伴い、安全確保を第一として、平成23年2月1日から特別な理由がある場合を除き、受け入れ停止となっています。</p> <p>今後は、粗大ごみ搬入動線の確保、受け入れ時間帯の検討などの受入体制を検討していきます。</p>	<p>蕨市：検討中</p> <p>戸田市：検討中</p> <p>組合：検討中</p> <p>今後の課題： （組合）現在の施設では受入再開しない。将来の施設整備において要検討。</p>													
多目的ストックヤードの整備の検討	<p>【多目的ストックヤードの整備】</p> <p>ペットボトルが増加傾向であること等、資源ごみの一時置場の確保と合わせて、災害時にも対応できる多目的ストックヤードを整備します。</p>	<p>蕨市：</p> <p>戸田市：</p> <p>組合：施設整備検討委員会による調査・検討（H25～H27）、施設整備等検討委員会による調査・検討（H28～）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペットボトル収集量</td> <td>1,087トン</td> <td>1,112トン</td> <td>1,145トン</td> </tr> </tbody> </table> <p>今後の課題： （組合）慢性的にストックヤードが不足、既存ストックヤードの老朽化</p>		R2	R3	R4	ペットボトル収集量	1,087トン	1,112トン	1,145トン					
	R2	R3	R4												
ペットボトル収集量	1,087トン	1,112トン	1,145トン												

項目	課題	関連施策	実施内容（H25～R5）と今後の課題																				
	廃棄物処分手数料 （ごみ、浄化槽汚泥） の見直し	<p>【家庭ごみの有料化の検討】 現状では1人1日当たりの排出量は減少しており、人口が増加する中でも、ごみ総排出量は横ばいになると想定されることから、当分の間は推移の状況を見守り、必要な状況になった場合は検討することとします。</p> <p>【事業者への分別の徹底】 事業系ごみの分別不徹底に対しては、分別指導をしていきます。また、必要に応じて手数料の見直しを検討していきます。</p> <p>【し尿（浄化槽汚泥）処理対策】 下水道未整備地域におけるマンション建設などにより、今後の増加が予想されるし尿処理について、効率的な処理を検討します。</p>	<p>蕨市：〔家庭ごみの有料化の検討〕ごみ排出量の状況を経過観察、〔事業者への分別の徹底〕ホームページを通じて適正処理を周知、通報に基づく適正処理の啓発、収集委託業者との連携による事業系ごみのごみステーションへの持出監視・市民団体との連携の検討、県職員併任職員による迅速な対応、事業系一般廃棄物の資源化の紹介、廃棄物再生業者との連携、事業系ごみ指定袋制度に関する検討</p> <p>戸田市：〔家庭ごみの有料化の検討〕ごみ排出量の状況を経過観察、〔事業者への分別の徹底〕ホームページを通じて適正処理を周知、通報に基づく適正処理の啓発、収集委託業者との連携による事業系ごみのごみステーションへの持出監視・市民団体との連携の検討、県職員併任職員による迅速な対応、事業系一般廃棄物の資源化の紹介、廃棄物再生業者との連携、事業系ごみ指定袋制度に関する検討</p> <p>組合：〔事業者への分別の徹底〕ごみ搬入検査の実施、事業系ごみ受入基準に関する説明会の開催（H25）、搬入ごみ監視システムの活用、県内自治体の廃棄物処理手数料調査、廃棄物処分手数料改正（H26～）、〔し尿（浄化槽汚泥）処理対策〕施設整備検討委員会による調査・検討（H25～H27）、施設整備等検討委員会による調査・検討（H28～H30）、基幹的設備改良事業（し尿）施工（R1）、現施設の維持管理（R2～）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活系ごみ収集量</td> <td>49,464 トン</td> <td>47,976 トン</td> <td>46,477 トン</td> </tr> <tr> <td>事業系ごみ収集量</td> <td>18,777 トン</td> <td>18,260 トン</td> <td>18,321 トン</td> </tr> <tr> <td>し尿収集量</td> <td>502,850 kg</td> <td>437,420 kg</td> <td>419,540 kg</td> </tr> <tr> <td>浄化槽汚泥収集量</td> <td>5,985,490 kg</td> <td>5,470,620 kg</td> <td>4,995,590 kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>今後の課題： （組合）一般廃棄物会計基準によるコスト分析、将来の施設整備を見据えた家庭ごみ有料化の検討</p>		R2	R3	R4	生活系ごみ収集量	49,464 トン	47,976 トン	46,477 トン	事業系ごみ収集量	18,777 トン	18,260 トン	18,321 トン	し尿収集量	502,850 kg	437,420 kg	419,540 kg	浄化槽汚泥収集量	5,985,490 kg	5,470,620 kg	4,995,590 kg
				R2	R3	R4																	
生活系ごみ収集量	49,464 トン	47,976 トン	46,477 トン																				
事業系ごみ収集量	18,777 トン	18,260 トン	18,321 トン																				
し尿収集量	502,850 kg	437,420 kg	419,540 kg																				
浄化槽汚泥収集量	5,985,490 kg	5,470,620 kg	4,995,590 kg																				
最終処分	最終処分量の減量化	<p>【減量化の検討】 発生抑制と再資源化を図ることにより、最終処分量の減量化を図ることとします。</p>	<p>蕨市：調査・検討中</p> <p>戸田市：調査・検討中</p> <p>組合：調査・検討中</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最終処分量</td> <td>3,275 トン</td> <td>3,289 トン</td> <td>2,849 トン</td> </tr> </tbody> </table> <p>今後の課題： （蕨市）特になし （戸田市）特になし （組合）固化灰の更なる資源化に向けた受け入れ先、費用負担の総合的検討</p>		R2	R3	R4	最終処分量	3,275 トン	3,289 トン	2,849 トン												
		R2	R3	R4																			
最終処分量	3,275 トン	3,289 トン	2,849 トン																				
埋立処分以外の資源化	<p>【固化灰、不燃物残渣の資源化】 固化灰、不燃物残渣は一部資源化を行っています。更に、資源化の可能性を検討し</p>	<p>蕨市：検討</p> <p>戸田市：小型家電のボックス回収（H26～）</p>																					

項目	課題	関連施策	実施内容（H25～R5）と今後の課題																
		ていきます。 【資源化の推進】 最新の技術動向を常に把握し、更なる廃棄物の資源化を進めます。	<p>組合：〔固化灰、不燃物残渣の資源化〕不燃物残渣の資源化（H25～）、固化灰の資源化（R1～）、〔資源化の推進〕小型家電の資源化（H26～）、不燃物残渣の資源化（H25～）、固化灰の資源化（R1～）、硬質プラスチックの資源化（H25～H30）、ペットボトルキャップ売払い（H26～）、情報収集、硬質プラスチックの資源化検討（R1～）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>固化灰資源化量</td> <td>384 トン</td> <td>398 トン</td> <td>699 トン</td> </tr> <tr> <td>不燃物残渣資源化量</td> <td>1,835 トン</td> <td>1,777 トン</td> <td>1,710 トン</td> </tr> <tr> <td>ペットボトルキャップ 売払い量</td> <td>8,500 kg</td> <td>13,050 kg</td> <td>13,740 kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>今後の課題： （蕨市）特になし （戸田市）特になし （組合）焼却灰・ばいじんのセメント原料化可能性検討、将来の施設整備での検討（金属・塩素除去）</p>		R2	R3	R4	固化灰資源化量	384 トン	398 トン	699 トン	不燃物残渣資源化量	1,835 トン	1,777 トン	1,710 トン	ペットボトルキャップ 売払い量	8,500 kg	13,050 kg	13,740 kg
	R2	R3	R4																
固化灰資源化量	384 トン	398 トン	699 トン																
不燃物残渣資源化量	1,835 トン	1,777 トン	1,710 トン																
ペットボトルキャップ 売払い量	8,500 kg	13,050 kg	13,740 kg																
その他項目	災害発生時における家庭ごみの収集体制の維持やごみ収集車が用いる燃料の確保	【災害廃棄物処理計画作成】 市町村は、「震災廃棄物対策指針」（平成10年10月）及び「水害廃棄物対策指針」（平成17年6月）を踏まえて、災害廃棄物処理計画を策定することとされています。大規模な震災や水害等も懸念されることから、検討していきます。特に、災害時の家庭ごみの収集体制の維持や燃料の確保、ごみ処理業務に使用する水の確保のための地下水利用、非常用の電源の確保などを早急に検討します。	蕨市：調査・検討 戸田市：災害廃棄物処理計画の策定（R3～）、調査・検討																
	震災時、被災時の施設運転用水に地下水活用等を検討	地下利用、非常用の電源の確保などを早急に検討します。 なお、現在、両市の「地域防災計画」に、災害時におけるごみ及びし尿についての計画が示されています。	組合：業務継続計画の策定・確認（H25～）、調査・検討 今後の課題： （蕨市）特になし （戸田市）特になし （組合）災害時における処理水の確保、非常時稼働方法の検討（地下水、雨水の利用）																
	環境教育の充実	【環境教育、普及啓発の充実】 ホームページや広報等を通じて住民、事業者に対してごみの減量化・再生利用、更にはごみの適切な分別に関する啓発や情報提供を行っています。ごみの減量化に関する社会意識を育むため、環境教育を積極的に行っていきます。	蕨市：広報紙・市情報テレビ番組等による啓発、530運動の実施、出前講座の実施、環境フォーラムの開催、生ごみと花苗の交換事業、エコキャップ運動、ホームページによる情報発信 戸田市：広報紙・情報テレビ番組等による啓発、530運動の実施、出前講座の実施、環境フェアの開催、生ごみと花苗の交換事業、ホームページによる情報発信、施設見学の受入（H26～R1） 組合：生ごみと花苗の交換事業、花壇ボランティア事業、職場体験学習の受入、施設見学の受入、ホームページによる情報発信、出前講座（花苗）ホテル観賞会実施（H27～R3）、段ボールコンポスト講座実施（R5） 今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続 （組合）出前講座メニューの見直しによる利用促進																
	緊急時に備えて、自家発電等による全施設の自立運転化	【震災等により発生する廃棄物の処理業務を継続できる仕組みの構築】 近い将来には大きな地震の発生が懸念されており、また、台風や大雨等は毎年のように襲来しています。これらの自然災害時には大量の廃棄物の発生が予測されます。	蕨市：災害廃棄物処理計画を策定中（R5） 戸田市：災害廃棄物処理計画の策定（R3～） 組合：業務継続計画の策定・確認（H25～）																

項目	課題	関連施策	実施内容（H25～R5）と今後の課題
		このため、災害発生時にあっても、廃棄物の安定的かつ継続的な処理を可能とする仕組みを構築します。	今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続 （組合）災害廃棄物処理体制の強化（ストックヤードの整備等）の検討、外部電源消失時の自立運転への移行体制の確立
その他項目	ごみの排出抑制のための家庭ごみの有料化の検討	【家庭ごみの有料化の検討】 現状では1人1日当たりの排出量は減少しており、人口が増加する中でも、ごみ総排出量は横ばいになると想定されることから、当分の間は推移の状況を見守り、必要な状況になった場合は検討することとします。	蕨市：ごみ排出量の状況を経過観察 戸田市：ごみ排出量の状況を経過観察 組合：検討 今後の課題： （蕨市）特になし （戸田市）特になし （組合）将来の施設整備で活用が想定される補助金の交付要件であるため三者での検討必要
	放射性物質を含む廃棄物による環境の汚染防止	【焼却灰等に含まれる放射性物質濃度等の調査】 「平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染の対処に関する特別措置法」が、平成23年8月30日に公布され、平成24年1月1日に完全施行されました。現在、蕨戸田衛生センター組合では、ごみ焼却施設における焼却灰等の放射性物質の濃度及び敷地境界における空間放射線量の測定を行っています。今後も定期的に行うとともに、必要な作業環境の改善や健康被害の防止を継続的に実施していきます。	蕨市： 戸田市： 組合：放射性物質濃度の測定、敷地境界空間放射線量の測定 今後の課題： （組合）敷地境界空間放射線量の測定の見直し
	地域貢献の検討	【周辺地域への貢献】 蕨戸田衛生センター組合では、リサイクルフラワーセンターにおいて、花苗による周辺地域の環境美化や高齢者、障がい者の就労支援等に貢献しています。その他、市民の健康増進に寄与することを目的とし、テニスコート（ハードコート2面の貸出しを行っています。 将来においても余剰電力の活用、周辺地域に貢献できる方法について創意工夫していきます。	蕨市： 戸田市： 組合：テニスコートの貸出し、自治会活動への施設貸出し、近隣自治会への花苗、堆肥の供給、再生家具の販売、花壇ボランティア活動支援、ホテル観賞会実施（H27～R3） 今後の課題： （組合）テニスコートの老朽化、厚生館の老朽化による施設貸出制限、周辺地域貢献事業としてのホテル観賞会の代替事業の実施

■既存計画のその他の施策

項 目	施 策	実施内容 (H25～R5) と今後の課題
発生・抑制計画	<p>【循環型ライフスタイルの促進】</p> <p>ごみを出さないライフスタイルの定着を目指し、マイボトルやマイバッグの利用促進に対する活動を行っていきます。</p>	<p>蕨市：広報紙・市情報テレビ番組による啓発</p> <p>戸田市：広報紙・市情報テレビ番組による啓発</p> <p>組合：ホームページに 3R のページを掲載 (H25～)</p> <p>今後の課題：</p> <p>(蕨市) 現状を継続</p> <p>(戸田市) 現状を継続</p> <p>(組合) 充実させた啓発ページコンテンツへのアクセス誘導 (アクセス数増)</p>
	<p>【事業者に対する減量化の指導】</p> <p>一般廃棄物排出事業者に対して減量化指導を行っていきます。また、小規模事業者にも減量化に対する協力を求めて行きます。</p>	<p>蕨市：検討</p> <p>戸田市：検討</p> <p>組合：ごみ搬入検査の実施、事業系ごみ受入基準に関する説明会の開催 (H25)</p> <p>今後の課題：</p> <p>(蕨市) 現状を継続</p> <p>(戸田市) 現状を継続</p> <p>(組合) 特になし</p>
	<p>【環境物品等の使用促進】</p> <p>再生品、エコ商品等の積極的な購入と、販売をお願いしていきます。</p>	<p>蕨市：広報紙・市情報テレビ番組による啓発、再生紙・エコ商品等の購入</p> <p>戸田市：広報紙・市情報テレビ番組による啓発、再生紙・エコ商品等の購入</p> <p>組合：ホームページに 3R のページを作成、再生紙・エコ商品等の購入</p> <p>今後の課題：</p> <p>(蕨市) 現状を継続</p> <p>(戸田市) 現状を継続</p> <p>(組合) 環境配慮物品・サービスの積極的調達</p>
	<p>【容器包装廃棄物等の排出抑制】</p> <p>簡易包装や、繰り返し使用できる商品等の購入に努めるようにすることが必要です。</p>	<p>蕨市：広報紙・市情報テレビ番組による啓発</p> <p>戸田市：広報紙・市情報テレビ番組による啓発</p> <p>組合：ホームページによる情報発信</p> <p>今後の課題：</p> <p>(蕨市) 現状を継続</p> <p>(戸田市) 現状を継続</p> <p>(組合) 特になし</p>
資源化計画	<p>【その他】</p> <p>再資源化等の技術進歩に合わせ、資源にできるものは資源化に努めます。</p>	<p>蕨市：</p> <p>戸田市：</p> <p>組合：</p> <p>今後の課題：</p>
収集・運搬計画	<p>【環境への配慮】</p> <p>収集場所でのごみ散乱防止、収集運搬車両の点検・整備等を行い、環境に配慮します。</p>	<p>蕨市：ホームページによる啓発、ごみネットの使用、収集運搬委託業者車両の適正管理指導</p> <p>戸田市：ホームページによる啓発、ごみネットの使用、収集運搬委託業者車両の適正管理指導</p> <p>組合：</p> <p>今後の課題：</p> <p>(蕨市) 現状を継続</p>

項 目	施 策	実施内容（H25～R5）と今後の課題
		（戸田市）現状を継続
中間処理計画	<p>【環境への配慮】</p> <p>公害の発生防止や化学物質に対する研究を行うなど、環境を汚染させない取組みを計画的に進めていくことが重要です。各中間処理施設の予防保全として各設備の点検・整備を適正に行い、ごみ焼却によるダイオキシン類、その他の有害物質の排出抑制対策を積極的に実施します。</p> <p>また、施設周辺に影響が無いよう、定期的に環境調査を行い公害防止に努め、調査結果の公表を推進します。</p>	<p>蕨市：</p> <p>戸田市：</p> <p>組合：計画的な施設の点検・整備、定期的な環境調査を実施し、両市広報紙、組合ホームページでの公表</p> <p>今後の課題：</p> <p>（組合）環境モニタリングの継続、関連法令等改正への対応</p>
中間処理計画	<p>【その他】</p> <p>蕨戸田衛生センター組合の運営方針は、下記のとおりです。</p> <p>○ダイオキシン削減対策 焼却施設から排出されるダイオキシン濃度は、通常の生活を営む上での身体への影響はないと考えられている安全値を維持しており、今後も、現行の排出濃度の遵守を図ります。</p> <p>○焼却量の減量化 ダイオキシンと地球温暖化の原因をなす二酸化炭素（CO₂）発生抑制の最良の方法は、ごみを燃やささないことです。燃やすごみの中から極力リサイクルを図ります。</p> <p>○リサイクルの促進 限りある資源を大切に、環境保護をめざし、循環型社会を構築するため、リサイクルの促進を図ります。</p> <p>○リサイクルの啓発 再生工房で再生した家具等を利用していただくことにより、リサイクルの啓発を図ります。</p> <p>○環境保護の体制づくり 蕨戸田衛生センターでは、ISO14001を認証取得しています。今後も更なる環境保護の体制づくりを図ります。</p> <p>○開かれた運営 情報公開条例の周知及びホームページの活用により、開かれた運営を図ります。</p>	<p>蕨市：</p> <p>戸田市：</p> <p>組合：検討</p> <p>今後の課題：</p> <p>（組合）組織の運営方針等の統一（ISO、一廃計画、独自方針等）</p>
最終処分計画	<p>【安定した最終処分場の確保】</p> <p>現在は、県営のほか民間業者に委託して、3箇所の処分場で埋立処分を行っています。最終処分場の確保は、年々困難になってきていることから、更なる減量化を進めるとともに、安定して継続的に長期的な委託先・最終処分先の確保に努めます。また、最終処分の委託に当たっては、長期的に受け入れ先の地元と良好な関係を維持するため、関係自治体及び住民との協力体制の強化に努めるとともに、関係業者に適切な指導を行うこととします。</p>	<p>蕨市：</p> <p>戸田市：</p> <p>組合：全ての最終処分場の現地確認実施、不燃物残渣の資源化（H25～）、固化灰の資源化（R1～）、固化灰の埋立委託（R2～）調査・検討</p> <p>今後の課題：</p> <p>（組合）資源化施設を含めた安定的・継続的な処理事業者の確保</p>
その他の施策等	<p>【在宅医療廃棄物対策】</p> <p>在宅医療廃棄物の取扱い等については、埼玉県より「在宅医療廃棄物適正処理ガイドライン及び取扱いガイド」が通知されました。在宅医療廃棄物は、一般廃棄物であることが示されました。今後は、こうした在宅医療廃棄物についても、分別収集を検討していく必要性があります。</p> <p>【一般廃棄物会計基準の導入促進の研究】</p> <p>一般廃棄物処理に係る費用対効果を明確にし、公共サービスの質の向上及び効率化を図るために、一般廃棄物会計基準の導入を検討します。</p>	<p>蕨市：情報収集、注射針の廃棄方法の徹底</p> <p>戸田市：情報収集</p> <p>組合：</p> <p>今後の課題：</p> <p>（蕨市）現状を継続</p> <p>（戸田市）現状を継続</p> <p>蕨市：調査・検討</p> <p>戸田市：調査・検討</p> <p>組合：調査・検討、令和3年度分試算（R4）</p> <p>今後の課題：</p> <p>（蕨市）各年度における会計基準財務書類の作成、組合への提供</p> <p>（戸田市）各年度における会計基準財務書類の作成、組合への提供</p>

項 目	施 策	実施内容（H25～R5）と今後の課題																
		(組合) 各年度における会計基準財務書類の作成、両市への報告																
その他の施策等	<p>【地球温暖化対策】</p> <p>一般廃棄物を処理する過程における温室効果ガスの排出源は、収集車の燃料、中間処理施設の燃料、電気等です。これらをできるだけ削減することにより、地球温暖化防止に役立つことから、環境に配慮した収集・運搬車両の導入の推奨、中間処理施設の燃焼効率の向上などの対策を検討していきます。</p>	<p>蕨市：環境に配慮した収集運搬車両の導入推奨（H26～）</p> <p>戸田市：環境に配慮した収集運搬車両の導入推奨（H26～）</p> <p>組合：施設整備検討委員会による調査・検討（H25～H27）、施設整備等検討委員会による調査・検討（H28～）、基幹的設備改良事業施工後の温室効果ガスの排出削減効果の確認（R1～）</p> <table border="1" data-bbox="1706 464 2594 648"> <thead> <tr> <th>CO₂削減量（性能試験データ）</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ごみ焼却施設</td> <td></td> <td></td> <td>30.4 %</td> </tr> <tr> <td>し尿処理施設</td> <td></td> <td>59.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>粗大ごみ処理施設</td> <td>19.1%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続 （組合）基幹的設備改良事業後の削減水準の維持</p>	CO ₂ 削減量（性能試験データ）	R2	R3	R4	ごみ焼却施設			30.4 %	し尿処理施設		59.2%		粗大ごみ処理施設	19.1%		
	CO ₂ 削減量（性能試験データ）	R2	R3	R4														
	ごみ焼却施設			30.4 %														
	し尿処理施設		59.2%															
粗大ごみ処理施設	19.1%																	
<p>【節電対策（使用電力量の削減）】</p> <p>ごみ処理に係る使用電力量削減のために、蕨戸田衛生センター内の空調設備の適切な設定温度調整、照明設備等の間引きや休憩時間の消灯、LED電球への交換等の節電対策を行っていきます。</p>	<p>蕨市：</p> <p>戸田市：</p> <p>組合：設備の省電力型機器導入の調査・検討（～H30）、余剰電力の売払い（H25～）、基幹的設備改良工事（ごみ、粗大、し尿）において各設備の省電力型機器の導入（R1～）</p> <p>今後の課題： （組合）中間処理施設、組合施設の省エネルギー化の推進（照明LED化、空調効率の改善等）</p>																	
<p>【標語等の普及】</p> <p>ごみの発生抑制と再資源化を促すために、統一したイメージの標語やシンボルマークを、広く市民や事業者に周知していきます。</p>	<p>蕨市：環境基本計画「みんなで未来へつなぐ 快適で持続可能なまち わらび」、事業系ごみ指定袋に「ワラビーくん」印刷</p> <p>戸田市：環境基本計画「人・緑・水が輝き みんなでつくる環境都市 とだ」、事業系ごみ指定袋に「リサちゃん」印刷</p> <p>組合：未検討</p> <p>今後の課題： （蕨市）現状を継続 （戸田市）現状を継続 （組合）基本理念の啓発のため必要と考えているが、両市それぞれキャラクターや標語がある</p>																	

■新計画（計画期間：令和7年度～令和16年度）の課題と関連施策（案）

項目	課題	想定される関連施策	想定される具体的な実施内容（R7～R16）
中間処理	粗大ごみ処理施設への爆発危険物の混入防止	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への分別徹底のPR ・粗大受入ヤードでの回収の強化 ・収集の際に発見した異物への対応検討 	
	粗大ごみ、不燃ごみに含まれる非鉄金属の回収	<ul style="list-style-type: none"> ・回収方法の検討 ・資源化する非鉄金属の特定 ・資源化方法の検討 	
	生ごみの資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・資源化方法の検討 ・分別収集区分の検討 ・リサイクルフラワーセンターの活用 	
	事業系の資源ごみの受入の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法の研究（自己搬入、家庭ごみ集積所排出、指定袋の活用、民間処理事業者との連携） ・資源化品目・処理可能規模の検討 ・廃プラスチック等の受入にあたって「あわせ産廃」の受入基準の規定 	
	水害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画の策定 ・循環型社会形成推進交付金の交付要件を満たす施設整備内容の検討（災害廃棄物処理に係る耐水機能） 	
	災害時の防災拠点・避難場所としての機能について	<ul style="list-style-type: none"> ・指定緊急避難場所機能の検討 ・業務継続継続（地震編）の更新、管理 ・施設近隣のさいたま市住民への対応 	
	情報公開体制の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の施設整備に向けた検討過程の公表 ・ごみ処理費用の見える化 ・排ガス等環境関連数値のリアルタイム公開 	
	プラスチック資源循環推進法への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済みプラスチック使用製品の収集、中間処理方法の検討 ・既存施設の処理能力の調査、施設整備の必要性検討 ・先事例や業界動向を調査し、コスト低減の検討 	
	施設設備の老朽化・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設備、構造物の老朽化対策の検討 ・老朽化した建築物の安全対策（建物診断、耐震、塗装等） 	
使用済み紙おむつの資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・分別収集方法の検討 ・資源化方法の検討 ・感染症罹患患者排出物との分別確認方法の検討 		